

1 自然数  $n$  に対して,  $a_n=\int_0^{\frac{\pi}{4}}\tan^{2n}x dx$  とする。

(1)  $a_1$  を求めよ。

(2)  $a_{n+1}$  を  $a_n$  で表せ。

(3)  $\lim_{n\rightarrow\infty}a_n$  を求めよ。

2 自然数  $n$  に対して,  $I_n=\int_0^1\frac{x^n}{1+x}dx$  とする。

(1)  $I_1$  を求めよ。また,  $I_n+I_{n+1}$  を  $n$  で表せ。

(2) 不等式  $\frac{1}{2(n+1)}\leq I_n\leq\frac{1}{n+1}$  が成り立つことを示せ。

(3)  $\lim_{n\rightarrow\infty}\sum_{k=1}^n\frac{(-1)^{k-1}}{k}=\log 2$  が成り立つことを示せ。

3 次の極限值を求めよ。

(1)  $\lim_{x\rightarrow\infty}\int_1^x te^{-t}dt$

(2)  $\lim_{x\rightarrow 0}\frac{1}{x}\int_0^x\sqrt{1+3\cos^2t} \, dt$

4

(1) (ア)  $1 \leq x \leq e$  において，不等式  $\log x \leq \frac{x}{e}$  が成り立つことを示せ。

(イ) 自然数  $n$  に対し， $\lim_{n \rightarrow \infty} \int_1^e x^2 (\log x)^n dx$  を求めよ。

(2)  $\lim_{x \rightarrow 0} \frac{1}{2x} \int_0^x t e^{t^2} dt$  を求めよ。

5

 $f(x)$ ， $g(x)$  はともに区間  $a \leq x \leq b$  ( $a < b$ ) で定義された連続な関数とする。

このとき，不等式  $\left\{ \int_a^b f(x) g(x) dx \right\}^2 \leq \left( \int_a^b \{f(x)\}^2 dx \right) \left( \int_a^b \{g(x)\}^2 dx \right)$  …… [A]

が成立することを示せ。また，等号はどのようなときに成立するかを述べよ。

6

 $a_n = 1 - \frac{1}{2} + \frac{1}{3} - \cdots + (-1)^{n-1} \frac{1}{n}$ ， $\alpha = \int_0^1 \frac{1}{1+x} dx$  とする。

$|a_n - \alpha| \leq \int_0^1 x^n dx$ であることを示し， $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n$  を求めよ。

7

自然数  $n$  に対して、 $R_n(x)=\frac{1}{1+x}-\{1-x+x^2-\cdots+(-1)^n x^n\}$  とする。

(1)  $\lim_{n\rightarrow\infty}\int_0^1R_n(x^2)dx$  を求めよ。

(2) 無限級数  $1-\frac{1}{3}+\frac{1}{5}-\frac{1}{7}+\cdots$  の和を求めよ。

8

 $n$  を 2 以上の自然数とする。

(1) 定積分  $\int_1^n x\log xdx$  を求めよ。

(2) 次の不等式を証明せよ。

$$\frac{1}{2}n^2\log n-\frac{1}{4}(n^2-1)<\sum_{k=1}^nk\log k<\frac{1}{2}n^2\log n-\frac{1}{4}(n^2-1)+n\log n$$

(3)  $\lim_{n\rightarrow\infty}\frac{\log(1^1\cdot2^2\cdot3^3\cdot\cdots\cdot n^n)}{n^2\log n}$  を求めよ。

9

数列  $\{I_n\}$  を関係式  $I_0=\int_0^1e^{-x}dx$ ,  $I_n=\frac{1}{n!}\int_0^1x^ne^{-x}dx$  ( $n=1, 2, 3, \cdots$ ) で定めると

き、次の問いに答えよ。

(1)  $I_0, I_1$  を求めよ。

(2)  $n\geqslant2$  のとき、 $I_n-I_{n-1}$  を  $n$  の式で表せ。

(3)  $\lim_{n\rightarrow\infty}I_n$  を求めよ。

(4)  $S_n=\sum_{k=0}^n\frac{1}{k!}$  とするとき、 $\lim_{n\rightarrow\infty}S_n$  を求めよ。

- 10  $a>0$  に対し、 $f(a)=\lim_{t\rightarrow+0}\int_t^1|ax+x\log x|dx$  とおくとき、次の問いに答えよ。必要ならば、 $\lim_{t\rightarrow+0}t^n\log t=0$  ( $n=1, 2, \dots$ )を用いてよい。
- (1)  $f(a)$  を求めよ。
- (2)  $a$  が正の実数全体を動くとき、 $f(a)$  の最小値とそのときの  $a$  の値を求めよ。

- 11 実数  $x$  に対して、 $x$  を超えない最大の整数を  $[x]$  で表す。

$n$  を正の整数とし  $a_n=\sum_{k=1}^n\frac{[\sqrt{2n^2-k^2}]}{n^2}$  とする。このとき、 $\lim_{n\rightarrow\infty}a_n$  を求めよ。

- 12  $0\leqq x<2$  となる実数  $x$  に対し、 $g(x)=\begin{cases}x&(0\leqq x<1\text{ のとき})\\2-x&(1\leqq x<2\text{ のとき})\end{cases}$  と定める。次に、実数  $x\geqq 0$  に対し、 $2m\leqq x<2m+2$  となる整数  $m$  を用いて  $f(x)=g(x-2m)$  と定める。
- 更に、 $a_n=\int_0^{2n}e^{-x}f(x)dx$  で数列  $\{a_n\}$  を定める。
- (1)  $y=f(x)$  の  $0\leqq x\leqq 4$  におけるグラフをかけ。
- (2)  $a_1$  を求めよ。
- (3)  $b_n=a_{n+1}-a_n$  とおく。 $b_n$  を  $n$  の式で表せ。
- (4) 極限值  $\lim_{n\rightarrow\infty}a_n$  を求めよ。

[1] 自然数  $n$  に対して、 $a_n=\int_0^{\frac{\pi}{4}}\tan^{2n}x\,dx$  とする。

- (1)  $a_1$  を求めよ。      (2)  $a_{n+1}$  を  $a_n$  で表せ。      (3)  $\lim_{n\rightarrow\infty}a_n$  を求めよ。

**【解答】** (1)  $a_1=1-\frac{\pi}{4}$       (2)  $a_{n+1}=-a_n+\frac{1}{2n+1}$       (3) 0

**【解説】**

(1)  $a_1=\int_0^{\frac{\pi}{4}}\tan^2x\,dx=\int_0^{\frac{\pi}{4}}\left(\frac{1}{\cos^2x}-1\right)dx=\left[\tan x-x\right]_0^{\frac{\pi}{4}}=1-\frac{\pi}{4}$

(2)  $a_{n+1}=\int_0^{\frac{\pi}{4}}\tan^{2n+2}x\,dx=\int_0^{\frac{\pi}{4}}\tan^{2n}x\tan^2x\,dx=\int_0^{\frac{\pi}{4}}\tan^{2n}x\left(\frac{1}{\cos^2x}-1\right)dx$   
 $=\int_0^{\frac{\pi}{4}}\tan^{2n}x\cdot\frac{1}{\cos^2x}dx-\int_0^{\frac{\pi}{4}}\tan^{2n}x\,dx=\left[\frac{1}{2n+1}\tan^{2n+1}x\right]_0^{\frac{\pi}{4}}-a_n$   
 $=-a_n+\frac{1}{2n+1}$

(3)  $0\leqq x\leqq\frac{\pi}{4}$  のとき  $0\leqq\tan x\leqq1$       よって  $0\leqq\tan^{2n+2}x\leqq\tan^{2n}x$

ゆえに  $0\leqq\int_0^{\frac{\pi}{4}}\tan^{2n+2}x\,dx\leqq\int_0^{\frac{\pi}{4}}\tan^{2n}x\,dx$       よって  $0\leqq a_{n+1}\leqq a_n$

ゆえに、(2)の結果から  $-a_n+\frac{1}{2n+1}\geqq0$       よって  $0\leqq a_n\leqq\frac{1}{2n+1}$

ここで、 $\lim_{n\rightarrow\infty}\frac{1}{2n+1}=0$  であるから  $\lim_{n\rightarrow\infty}a_n=0$

[2] 自然数  $n$  に対して、 $I_n=\int_0^1\frac{x^n}{1+x}dx$  とする。

- (1)  $I_1$  を求めよ。また、 $I_n+I_{n+1}$  を  $n$  で表せ。  
(2) 不等式  $\frac{1}{2(n+1)}\leqq I_n\leqq\frac{1}{n+1}$  が成り立つことを示せ。  
(3)  $\lim_{n\rightarrow\infty}\sum_{k=1}^n\frac{(-1)^{k-1}}{k}=\log 2$  が成り立つことを示せ。

**【解答】** (1)  $I_1=1-\log 2$ 、 $I_n+I_{n+1}=\frac{1}{n+1}$       (2) 略      (3) 略

**【解説】**

(1)  $I_1=\int_0^1\frac{x}{1+x}dx=\int_0^1\left(1-\frac{1}{1+x}\right)dx=\left[x-\log(1+x)\right]_0^1=1-\log 2$

$I_n+I_{n+1}=\int_0^1\left(\frac{x^n}{1+x}+\frac{x^{n+1}}{1+x}\right)dx=\int_0^1x^ndx=\left[\frac{1}{n+1}x^{n+1}\right]_0^1=\frac{1}{n+1}$

(2)  $0\leqq x\leqq1$  のとき  $1\leqq1+x\leqq2$

よって  $\frac{1}{2}\leqq\frac{1}{1+x}\leqq1$       ゆえに  $\frac{x^n}{2}\leqq\frac{x^n}{1+x}\leqq x^n$

よって  $\int_0^1\frac{x^n}{2}dx\leqq\int_0^1\frac{x^n}{1+x}dx\leqq\int_0^1x^ndx$

ここで  $\int_0^1\frac{x^n}{2}dx=\frac{1}{2(n+1)}$ 、 $\int_0^1x^ndx=\frac{1}{n+1}$

したがって  $\frac{1}{2(n+1)}\leqq I_n\leqq\frac{1}{n+1}$

(3) (1)より、 $1=\log 2+I_1$ 、 $\frac{1}{n+1}=I_n+I_{n+1}$  であるから

$$\begin{aligned}\sum_{k=1}^n\frac{(-1)^{k-1}}{k}&=1-\frac{1}{2}+\frac{1}{3}-\frac{1}{4}+\cdots+\frac{(-1)^{n-1}}{n}\\&=(\log 2+I_1)-(I_1+I_2)+(I_2+I_3)-(I_3+I_4)+\cdots+(-1)^{n-1}(I_{n-1}+I_n)\\&=\log 2+(-1)^{n-1}I_n\end{aligned}$$

(2)において  $\lim_{n\rightarrow\infty}\frac{1}{2(n+1)}=\lim_{n\rightarrow\infty}\frac{1}{n+1}=0$

よって、 $\lim_{n\rightarrow\infty}I_n=0$  であるから  $\lim_{n\rightarrow\infty}\sum_{k=1}^n\frac{(-1)^{k-1}}{k}=\log 2$

[3] 次の極限値を求めよ。

(1)  $\lim_{x\rightarrow\infty}\int_1^xte^{-t}dt$       (2)  $\lim_{x\rightarrow0}\frac{1}{x}\int_0^x\sqrt{1+3\cos^2t}\,dt$

**【解答】** (1)  $\frac{2}{e}$       (2) 2

**【解説】**

(1)  $\int_1^xte^{-t}dt=\int_1^xt(-e^{-t})'dt=\left[-te^{-t}\right]_1^x+\int_1^xe^{-t}dt=-xe^{-x}+e^{-1}-\left[e^{-t}\right]_1^x$   
 $=-\frac{x}{e^x}-\frac{1}{e^x}+\frac{2}{e}$

ここで、 $f(x)=e^x-x^2$  ( $x\geqq1$ ) とおくと

$f'(x)=e^x-2x$ 、 $f''(x)=e^x-2$   
 $f''(x)$  は単調に増加し、 $x\geqq1$  のとき  $f''(x)\geqq e-2>0$

ゆえに、 $f'(x)$  は  $x\geqq1$  で単調に増加する。

このことと  $f'(1)=e-2>0$  から、 $x\geqq1$  のとき  $f'(x)>0$

よって、 $f(x)$  は  $x\geqq1$  で単調に増加する。

このことと  $f(1)=e-1>0$  から、 $x\geqq1$  のとき  $f(x)>0$

したがって、 $x\geqq1$  のとき  $e^x-x^2>0$  すなわち  $e^x>x^2$

ゆえに  $0<\frac{x}{e^x}<\frac{1}{x}$        $\lim_{x\rightarrow\infty}\frac{1}{x}=0$  であるから  $\lim_{x\rightarrow\infty}\frac{x}{e^x}=0$

以上から  $\lim_{x\rightarrow\infty}\int_1^xte^{-t}dt=\lim_{x\rightarrow\infty}\left(-\frac{x}{e^x}-\frac{1}{e^x}+\frac{2}{e}\right)=\frac{2}{e}$

(2)  $\int\sqrt{1+3\cos^2t}\,dt=F(t)+C$  ( $C$  は積分定数) とすると  $F'(t)=\sqrt{1+3\cos^2t}$

したがって  $\lim_{x\rightarrow0}\frac{1}{x}\int_0^x\sqrt{1+3\cos^2t}\,dt=\lim_{x\rightarrow0}\frac{F(x)-F(0)}{x-0}=F'(0)=2$

[4] (1) (ア)  $1\leqq x\leqq e$  において、不等式  $\log x\leqq\frac{x}{e}$  が成り立つことを示せ。

(イ) 自然数  $n$  に対し、 $\lim_{n\rightarrow\infty}\int_1^ex^2(\log x)^ndx$  を求めよ。

(2)  $\lim_{x\rightarrow0}\frac{1}{2x}\int_0^xte^{t^2}dt$  を求めよ。

**【解答】** (1) (ア) 略      (イ) 0      (2) 0

**【解説】**

(1) (ア)  $f(x)=\frac{x}{e}-\log x$  とおくと  $f'(x)=\frac{1}{e}-\frac{1}{x}=\frac{x-e}{ex}$

$1<x<e$  において  $f'(x)<0$

よって、 $f(x)$  は  $1\leqq x\leqq e$  において単調に減少する。

また  $f(e)=0$

ゆえに、 $1\leqq x\leqq e$  において  $f(x)\geqq0$  すなわち  $\log x\leqq\frac{x}{e}$

(イ) (ア)より、 $1\leqq x\leqq e$  において  $0\leqq\log x\leqq\frac{x}{e}$

よって  $0\leqq(\log x)^n\leqq\left(\frac{x}{e}\right)^n$       ゆえに  $0\leqq x^2(\log x)^n\leqq x^2\left(\frac{x}{e}\right)^n$

よって  $0\leqq\int_1^ex^2(\log x)^ndx\leqq\int_1^ex^2\left(\frac{x}{e}\right)^ndx$

ここで  $\int_1^ex^2\left(\frac{x}{e}\right)^ndx=\frac{1}{e^n}\int_1^ex^{n+2}dx=\frac{1}{e^n}\left[\frac{1}{n+3}x^{n+3}\right]_1^e$   
 $=\frac{1}{e^n(n+3)}(e^{n+3}-1)=\frac{1}{n+3}\left(e^3-\frac{1}{e^n}\right)$

$\lim_{n\rightarrow\infty}\frac{1}{n+3}\left(e^3-\frac{1}{e^n}\right)=0$  であるから  $\lim_{n\rightarrow\infty}\int_1^ex^2(\log x)^ndx=0$

(2)  $\int te^{t^2}dt=F(t)+C$  ( $C$  は積分定数) とすると  $F'(t)=te^{t^2}$

よって  $\lim_{x\rightarrow0}\frac{1}{2x}\int_0^xte^{t^2}dt=\lim_{x\rightarrow0}\left\{\frac{1}{2x}\cdot\left[F(t)\right]_0^x\right\}=\lim_{x\rightarrow0}\left\{\frac{1}{2}\cdot\frac{F(x)-F(0)}{x-0}\right\}$   
 $=\frac{1}{2}F'(0)=0$

[5]  $f(x)$ 、 $g(x)$  はともに区間  $a\leqq x\leqq b$  ( $a<b$ ) で定義された連続な関数とする。

このとき、不等式  $\left\{\int_a^bf(x)g(x)dx\right\}^2\leqq\left(\int_a^b\{f(x)\}^2dx\right)\left(\int_a^b\{g(x)\}^2dx\right)$  ……[A]

が成立することを示せ。また、等号はどのようなときに成立するかを述べよ。

**【解答】** 証明略、常に  $f(x)=0$  または  $g(x)=0$  または  $f(x)=kg(x)$  となる定数  $k$  が存在するとき

**【解説】**

$p=\int_a^b\{g(x)\}^2dx$ 、 $q=\int_a^bf(x)g(x)dx$ 、 $r=\int_a^b\{f(x)\}^2dx$  とおく。区間  $[a, b]$  において

[1] 常に  $f(x)=0$  または  $g(x)=0$  のとき

不等式 [A] の両辺はともに 0 となり、[A] が成り立つ。

[2] [1]の場合以外するとき

$t$  を任意の実数とすると

$\int_a^b\{f(x)+tg(x)\}^2dx=\int_a^b[\{f(x)\}^2+2tf(x)g(x)+t^2\{g(x)\}^2]dx=pt^2+2qt+r$

$\{f(x)+tg(x)\}^2\geqq0$  であるから  $\int_a^b\{f(x)+tg(x)\}^2dx\geqq0$

すなわち、任意の実数  $t$  に対して  $pt^2+2qt+r\geqq0$  が成り立つ。

ここで  $p>0$  であるから、 $t$  の 2 次方程式  $pt^2+2qt+r=0$  の判別式を  $D$  とすると

$\frac{D}{4}=q^2-pr\leqq0$       ゆえに  $q^2\leqq pr$

[1]、[2]から  $q^2\leqq pr$       すなわち、不等式 [A] が成り立つ。

また、[2]において、不等式 [A] で等号が成り立つとすると、 $D=0$  であるから、2 次方程式  $pt^2+2qt+r=0$  は重解  $\alpha$  をもつ。よって、 $p\alpha^2+2q\alpha+r=0$  であるから

$\int_a^b\{f(x)+\alpha g(x)\}^2dx=0$  ……[B]

ここで、区間  $[a, b]$  で常に  $\{f(x)+\alpha g(x)\}^2\geqq0$  であり、[B] から常に

$f(x)+\alpha g(x)=0$       すなわち  $f(x)=-\alpha g(x)$

以上から、[A] で等号が成り立つのは区間  $[a, b]$  で

常に  $f(x)=0$  または  $g(x)=0$  または  $f(x)=kg(x)$  となる定数  $k$  が存在するときに限る。

〔6〕  $a_n=1-\frac{1}{2}+\frac{1}{3}-\cdots+(-1)^{n-1}\frac{1}{n}$ ,  $\alpha=\int_0^1\frac{1}{1+x}dx$  とする。

$|a_n-\alpha|\leq\int_0^1x^ndx$ であることを示し、 $\lim_{n\rightarrow\infty}a_n$ を求めよ。

〔解答〕 証明略,  $\log 2$

〔解説〕

$k=1, 2, \cdots, n$  に対して  $\int_0^1x^{k-1}dx=\left[\frac{x^k}{k}\right]_0^1=\frac{1}{k}$

また、 $0\leq x\leq 1$  では  $-x\leq 1$ ,  $1\leq 1+x\leq 2$  であり

$$a_n=\sum_{k=1}^n(-1)^{k-1}\frac{1}{k}=\sum_{k=1}^n(-1)^{k-1}\int_0^1x^{k-1}dx=\int_0^1\sum_{k=1}^n(-x)^{k-1}dx=\int_0^1\frac{1-(-x)^n}{1+x}dx$$

$$\begin{aligned} \text{よって } |a_n-\alpha| &= \left| \int_0^1 \left\{ \frac{1-(-x)^n}{1+x} - \frac{1}{1+x} \right\} dx \right| \\ &= \left| \int_0^1 \frac{-(-x)^n}{1+x} dx \right| \leq \int_0^1 \left| \frac{-(-x)^n}{1+x} \right| dx \\ &= \int_0^1 \frac{x^n}{1+x} dx \leq \int_0^1 x^n dx \end{aligned}$$

$$\int_0^1 x^n dx = \left[ \frac{x^{n+1}}{n+1} \right]_0^1 = \frac{1}{n+1} \text{ であるから } 0 \leq |a_n - \alpha| \leq \frac{1}{n+1}$$

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{n+1} = 0 \text{ であるから } \lim_{n \rightarrow \infty} |a_n - \alpha| = 0$$

$$\text{したがって } \lim_{n \rightarrow \infty} a_n = \alpha = \int_0^1 \frac{dx}{1+x} = \left[ \log(1+x) \right]_0^1 = \log 2$$

〔7〕 自然数  $n$  に対して、 $R_n(x)=\frac{1}{1+x}-\{1-x+x^2-\cdots+(-1)^n x^n\}$  とする。

(1)  $\lim_{n \rightarrow \infty} \int_0^1 R_n(x^2) dx$  を求めよ。

(2) 無限級数  $1-\frac{1}{3}+\frac{1}{5}-\frac{1}{7}+\cdots$  の和を求めよ。

〔解答〕 (1) 0 (2)  $\frac{\pi}{4}$

〔解説〕

(1)  $R_n(x)$  の第 1 項の分母は 0 でないから  $x \neq -1$

$R_n(x)$  の第 2 項の  $\{ \}$  の中は、初項 1, 公比  $-x$ , 項数  $n+1$  の等比数列の和である

$$\text{から } R_n(x) = \frac{1}{1+x} - \frac{1-(-1)^{n+1}x^{n+1}}{1+x} = \frac{(-1)^{n+1}x^{n+1}}{1+x}$$

$$\text{ゆえに } \left| \int_0^1 R_n(x^2) dx \right| \leq \int_0^1 |R_n(x^2)| dx = \int_0^1 \frac{x^{2n+2}}{1+x^2} dx$$

$$\frac{x^{2n+2}}{1+x^2} \leq x^{2n+2} \text{ であり、等号は常には成り立たないから}$$

$$\int_0^1 \frac{x^{2n+2}}{1+x^2} dx < \int_0^1 x^{2n+2} dx = \left[ \frac{x^{2n+3}}{2n+3} \right]_0^1 = \frac{1}{2n+3}$$

$$\text{したがって } \left| \int_0^1 R_n(x^2) dx \right| < \frac{1}{2n+3}$$

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{2n+3} = 0 \text{ であるから } \lim_{n \rightarrow \infty} \int_0^1 R_n(x^2) dx = 0$$

(2) 無限級数の初項から第  $n+1$  項までの部分 and を  $S_{n+1}$  とすると

$$S_{n+1} = 1 - \frac{1}{3} + \frac{1}{5} - \frac{1}{7} + \cdots + (-1)^n \frac{1}{2n+1}$$

$$\int_0^1 R_n(x^2) dx = \int_0^1 \frac{dx}{1+x^2} - \int_0^1 \{1-x^2+x^4-\cdots+(-1)^n x^{2n}\} dx$$

$$\text{ここで、} I = \int_0^1 \frac{dx}{1+x^2}, \quad J = \int_0^1 \{1-x^2+x^4-\cdots+(-1)^n x^{2n}\} dx \text{ とする。}$$

$$x = \tan \theta \text{ とおくと } dx = \frac{d\theta}{\cos^2 \theta}$$

$x$  と  $\theta$  の対応は右ようになる。

$$I = \int_0^{\frac{\pi}{4}} \frac{1}{1+\tan^2 \theta} \cdot \frac{d\theta}{\cos^2 \theta} = \int_0^{\frac{\pi}{4}} d\theta = \left[ \theta \right]_0^{\frac{\pi}{4}} = \frac{\pi}{4}$$

$$J = \left[ x - \frac{x^3}{3} + \frac{x^5}{5} - \cdots + (-1)^n \frac{x^{2n+1}}{2n+1} \right]_0^1$$

$$= 1 - \frac{1}{3} + \frac{1}{5} - \cdots + (-1)^n \frac{1}{2n+1}$$

であるから

$$\int_0^1 R_n(x^2) dx = \frac{\pi}{4} - \left\{ 1 - \frac{1}{3} + \frac{1}{5} - \cdots + (-1)^n \frac{1}{2n+1} \right\} = \frac{\pi}{4} - S_{n+1}$$

$$(1) \text{ より、} \lim_{n \rightarrow \infty} \int_0^1 R_n(x^2) dx = 0 \text{ であるから } \lim_{n \rightarrow \infty} \left( \frac{\pi}{4} - S_{n+1} \right) = 0$$

$$\text{よって } \lim_{n \rightarrow \infty} S_{n+1} = \frac{\pi}{4} \quad \text{したがって、求める和は} \quad \frac{\pi}{4}$$

〔8〕  $n$  を 2 以上の自然数とする。

(1) 定積分  $\int_1^n x \log x dx$  を求めよ。

(2) 次の不等式を証明せよ。

$$\frac{1}{2} n^2 \log n - \frac{1}{4} (n^2 - 1) < \sum_{k=1}^n k \log k < \frac{1}{2} n^2 \log n - \frac{1}{4} (n^2 - 1) + n \log n$$

(3)  $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{\log(1^1 \cdot 2^2 \cdot 3^3 \cdot \cdots \cdot n^n)}{n^2 \log n}$  を求めよ。

〔解答〕 (1)  $\frac{1}{2} n^2 \log n - \frac{1}{4} n^2 + \frac{1}{4}$  (2) 略 (3)  $\frac{1}{2}$

〔解説〕

$$(1) \int_1^n x \log x dx = \left[ \frac{1}{2} x^2 \log x \right]_1^n - \int_1^n \frac{1}{2} x^2 \cdot \frac{1}{x} dx = \frac{1}{2} n^2 \log n - \left[ \frac{1}{4} x^2 \right]_1^n$$

$$= \frac{1}{2} n^2 \log n - \frac{1}{4} n^2 + \frac{1}{4}$$

(2)  $f(x) = x \log x$  とすると

$$f'(x) = \log x + x \cdot \frac{1}{x} = \log x + 1$$

よって、 $x \geq 1$  で  $f'(x) > 0$  となり、 $x \geq 1$  において  $f(x)$

は単調に増加する。

自然数  $k$  に対して、 $k \leq x \leq k+1$  のとき

$$k \log k \leq x \log x \leq (k+1) \log(k+1)$$

常に  $k \log k = x \log x$  または  $x \log x = (k+1) \log(k+1)$

ではないから

$$\int_k^{k+1} k \log k dx < \int_k^{k+1} x \log x dx < \int_k^{k+1} (k+1) \log(k+1) dx$$

$$\text{ゆえに } k \log k < \int_k^{k+1} x \log x dx < (k+1) \log(k+1)$$

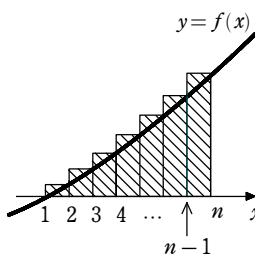
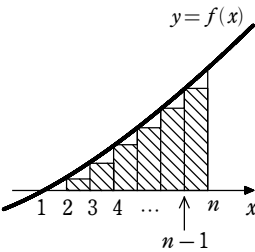
よって

$$\sum_{k=1}^{n-1} k \log k < \sum_{k=1}^{n-1} \int_k^{k+1} x \log x dx < \sum_{k=1}^{n-1} (k+1) \log(k+1)$$

ここで、(1) の結果を利用すると

$$\sum_{k=1}^{n-1} \int_k^{k+1} x \log x dx = \int_1^n x \log x dx$$

$$= \frac{1}{2} n^2 \log n - \frac{1}{4} (n^2 - 1)$$



$$\text{また } \sum_{k=1}^{n-1} (k+1) \log(k+1) = \sum_{k=2}^n k \log k = \sum_{k=1}^n k \log k$$

$$\text{ゆえに } \sum_{k=1}^{n-1} k \log k < \frac{1}{2} n^2 \log n - \frac{1}{4} (n^2 - 1) < \sum_{k=1}^n k \log k \quad \cdots \cdots \text{①}$$

$$\sum_{k=1}^{n-1} k \log k < \frac{1}{2} n^2 \log n - \frac{1}{4} (n^2 - 1) \text{ の両辺に } n \log n \text{ を加えて}$$

$$\sum_{k=1}^n k \log k < \frac{1}{2} n^2 \log n - \frac{1}{4} (n^2 - 1) + n \log n \quad \cdots \cdots \text{②}$$

①, ② から、 $n \geq 2$  のとき

$$\frac{1}{2} n^2 \log n - \frac{1}{4} (n^2 - 1) < \sum_{k=1}^n k \log k < \frac{1}{2} n^2 \log n - \frac{1}{4} (n^2 - 1) + n \log n$$

(3)  $a_n = \frac{\log(1^1 \cdot 2^2 \cdot 3^3 \cdot \cdots \cdot n^n)}{n^2 \log n}$  とすると

$$a_n = \frac{1}{n^2 \log n} (\log 1 + 2 \log 2 + \cdots + n \log n) = \frac{1}{n^2 \log n} \sum_{k=1}^n k \log k$$

$n \geq 2$  のとき  $n^2 \log n > 0$

よって、(2) で証明した不等式の各辺を  $n^2 \log n$  で割ると

$$\frac{1}{2} - \frac{1}{4 \log n} \left( 1 - \frac{1}{n^2} \right) < a_n < \frac{1}{2} - \frac{1}{4 \log n} \left( 1 - \frac{1}{n^2} \right) + \frac{1}{n}$$

$$\text{ここで } \lim_{n \rightarrow \infty} \left\{ \frac{1}{2} - \frac{1}{4 \log n} \left( 1 - \frac{1}{n^2} \right) \right\} = \frac{1}{2}, \quad \lim_{n \rightarrow \infty} \left\{ \frac{1}{2} - \frac{1}{4 \log n} \left( 1 - \frac{1}{n^2} \right) + \frac{1}{n} \right\} = \frac{1}{2}$$

$$\text{したがって } \lim_{n \rightarrow \infty} a_n = \frac{1}{2}$$

〔9〕 数列  $\{I_n\}$  を関係式  $I_0 = \int_0^1 e^{-x} dx$ ,  $I_n = \frac{1}{n!} \int_0^1 x^n e^{-x} dx$  ( $n=1, 2, 3, \cdots$ ) で定めると

き、次の問いに答えよ。

(1)  $I_0$ ,  $I_1$  を求めよ。

(2)  $n \geq 2$  のとき、 $I_n - I_{n-1}$  を  $n$  の式で表せ。

(3)  $\lim_{n \rightarrow \infty} I_n$  を求めよ。

(4)  $S_n = \sum_{k=0}^n \frac{1}{k!}$  とするとき、 $\lim_{n \rightarrow \infty} S_n$  を求めよ。

〔解答〕 (1)  $I_0 = 1 - \frac{1}{e}$ ,  $I_1 = 1 - \frac{2}{e}$  (2)  $I_n - I_{n-1} = -\frac{1}{n!e}$  (3) 0 (4)  $e$

〔解説〕

$$(1) I_0 = \int_0^1 e^{-x} dx = \left[ -e^{-x} \right]_0^1 = -e^{-1} + 1 = 1 - \frac{1}{e}$$

$$\begin{aligned} I_1 &= \frac{1}{1!} \int_0^1 x e^{-x} dx = \int_0^1 x (-e^{-x})' dx = \left[ -x e^{-x} \right]_0^1 + \int_0^1 e^{-x} dx \\ &= -e^{-1} + I_0 = -\frac{1}{e} + \left( 1 - \frac{1}{e} \right) = 1 - \frac{2}{e} \end{aligned}$$

(2)  $n \geq 2$  のとき

$$\begin{aligned} I_n &= \frac{1}{n!} \int_0^1 x^n e^{-x} dx = \frac{1}{n!} \int_0^1 x^n (-e^{-x})' dx \\ &= \frac{1}{n!} \left[ -x^n e^{-x} \right]_0^1 + \frac{1}{n!} \int_0^1 n x^{n-1} e^{-x} dx \\ &= -\frac{e^{-1}}{n!} + \frac{1}{(n-1)!} \int_0^1 x^{n-1} e^{-x} dx = -\frac{1}{n!e} + I_{n-1} \end{aligned}$$

$$\text{よって } I_n - I_{n-1} = -\frac{1}{n!e} \quad \cdots \cdots \text{①}$$

(3)  $0 \leq x \leq 1$  のとき  $0 \leq x^n \leq 1$

$$\text{各辺に } e^{-x} \text{ を掛けると } 0 \leq x^n e^{-x} \leq e^{-x}$$

$$\text{よって } 0 \leq \frac{1}{n!} \int_0^1 x^n e^{-x} dx \leq \frac{1}{n!} \int_0^1 e^{-x} dx$$

$$\text{すなわち} \quad 0 \leq I_n \leq \frac{1}{n!} \int_0^1 e^{-x} dx$$

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{n!} \int_0^1 e^{-x} dx = 0 \quad \text{であるから} \quad \lim_{n \rightarrow \infty} I_n = 0$$

(4) ①について、 $n=1$  とすると

$$I_1 - I_0 = \left(1 - \frac{2}{e}\right) - \left(1 - \frac{1}{e}\right) = -\frac{1}{e} = -\frac{1}{1!e}$$

よって、①は  $n=1$  のときにも成り立つ。

$$\begin{aligned} \text{ゆえに、} n \geq 1 \text{ のとき} \quad I_n &= I_0 + \sum_{k=1}^n \left(-\frac{1}{k!e}\right) = 1 - \frac{1}{e} - \frac{1}{e} \sum_{k=1}^n \frac{1}{k!} \\ &= 1 - \frac{1}{e} - \frac{1}{e} \left(\sum_{k=0}^n \frac{1}{k!} - 1\right) = 1 - \frac{1}{e} S_n \end{aligned}$$

したがって  $S_n = e - e I_n$

$$(3) \text{より、} \lim_{n \rightarrow \infty} I_n = 0 \text{ であるから} \quad \lim_{n \rightarrow \infty} S_n = e$$

10  $a > 0$  に対し、 $f(a) = \lim_{t \rightarrow +0} \int_t^1 |ax + x \log x| dx$  とおくと、次の問いに答えよ。必要なら

ば、 $\lim_{t \rightarrow +0} t^n \log t = 0$  ( $n=1, 2, \dots$ ) を用いてよい。

(1)  $f(a)$  を求めよ。

(2)  $a$  が正の実数全体を動くとき、 $f(a)$  の最小値とそのときの  $a$  の値を求めよ。

$$\text{解答} \quad (1) \quad f(a) = \frac{1}{2} e^{-2a} + \frac{a}{2} - \frac{1}{4} \quad (2) \quad a = \frac{1}{2} \log 2 \text{ で最小値 } \frac{1}{4} \log 2$$

解説

(1)  $g(x) = ax + x \log x$  とすると  $g(x) = x(\log x + a)$

よって  $0 < x \leq e^{-a}$  のとき  $g(x) \leq 0$   $x \geq e^{-a}$  のとき  $g(x) \geq 0$

また、 $a > 0$  のとき、 $0 < e^{-a} < 1$  である。

$t \rightarrow +0$  のときを考えるから、 $t$  を十分小さくすると

$$\int_t^1 |g(x)| dx = \int_t^{e^{-a}} \{-g(x)\} dx + \int_{e^{-a}}^1 g(x) dx$$

$$\begin{aligned} \text{ここで} \quad \int g(x) dx &= \int (ax + x \log x) dx = \frac{a}{2} x^2 + \frac{x^2}{2} \log x - \int \frac{x^2}{2} \cdot \frac{1}{x} dx \\ &= \frac{1}{2} x^2 (a + \log x) - \frac{1}{4} x^2 + C \\ &= \frac{1}{4} x^2 (2 \log x + 2a - 1) + C \quad (C \text{ は積分定数}) \end{aligned}$$

よって、 $G(x) = \frac{1}{4} x^2 (2 \log x + 2a - 1)$  とすると

$$\int_t^1 |g(x)| dx = \left[-G(x)\right]_t^{e^{-a}} + \left[G(x)\right]_{e^{-a}}^1 = G(t) + G(1) - 2G(e^{-a})$$

$$\text{ここで、} \lim_{t \rightarrow +0} t^2 \log t = 0 \text{ であるから} \quad \lim_{t \rightarrow +0} G(t) = 0$$

$$\text{したがって} \quad f(a) = \lim_{t \rightarrow +0} \{G(t) + G(1) - 2G(e^{-a})\} = G(1) - 2G(e^{-a})$$

$$= \frac{1}{4} (2a - 1) - 2 \cdot \frac{1}{4} e^{-2a} \cdot (-1) = \frac{1}{2} e^{-2a} + \frac{a}{2} - \frac{1}{4}$$

$$(2) \quad (1) \text{ から} \quad f'(a) = \frac{1}{2} \cdot (-2e^{-2a}) + \frac{1}{2} = -e^{-2a} + \frac{1}{2}$$

$$f'(a) = 0 \text{ とすると} \quad e^{-2a} = \frac{1}{2} \quad \text{よって} \quad a = \frac{1}{2} \log 2$$

ゆえに、 $a > 0$  における  $f(a)$  の増減表は右のようになる。

したがって、 $f(a)$  は  $a = \frac{1}{2} \log 2$  で最小となる。

$$\begin{aligned} \text{最小値は} \quad f\left(\frac{1}{2} \log 2\right) &= \frac{1}{2} e^{-\log 2} + \frac{1}{4} \log 2 - \frac{1}{4} \\ &= \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{2} + \frac{1}{4} \log 2 - \frac{1}{4} = \frac{1}{4} \log 2 \end{aligned}$$

11 実数  $x$  に対して、 $x$  を超えない最大の整数を  $[x]$  で表す。

$n$  を正の整数とし  $a_n = \sum_{k=1}^n \frac{[\sqrt{2n^2 - k^2}]}{n^2}$  とする。このとき、 $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n$  を求めよ。

$$\text{解答} \quad \frac{\pi}{4} + \frac{1}{2}$$

解説

[ ] の定義から  $\sqrt{2n^2 - k^2} - 1 < [\sqrt{2n^2 - k^2}] \leq \sqrt{2n^2 - k^2}$

$$\text{よって} \quad \sqrt{2 - \left(\frac{k}{n}\right)^2} - \frac{1}{n} < \frac{[\sqrt{2n^2 - k^2}]}{n^2} \leq \sqrt{2 - \left(\frac{k}{n}\right)^2}$$

$$\text{ゆえに} \quad \sum_{k=1}^n \frac{1}{n} \sqrt{2 - \left(\frac{k}{n}\right)^2} - \frac{1}{n} < a_n \leq \sum_{k=1}^n \frac{1}{n} \sqrt{2 - \left(\frac{k}{n}\right)^2} \quad \dots\dots ①$$

$$\text{ここで} \quad \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n \frac{1}{n} \sqrt{2 - \left(\frac{k}{n}\right)^2} = \int_0^1 \sqrt{2 - x^2} dx$$

$\int_0^1 \sqrt{2 - x^2} dx$  は図の網目の部分の面積に等しいから

$$\int_0^1 \sqrt{2 - x^2} dx = \frac{1}{2} \cdot (\sqrt{2})^2 \cdot \frac{\pi}{4} + \frac{1}{2} \cdot 1 \cdot 1 = \frac{\pi}{4} + \frac{1}{2}$$

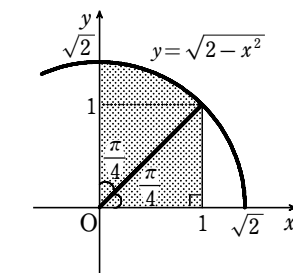
$$\text{また} \quad \sum_{k=1}^n \frac{1}{n^2} = \frac{1}{n^2} \cdot n = \frac{1}{n}$$

よって、①において

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n \frac{1}{n} \sqrt{2 - \left(\frac{k}{n}\right)^2} = \frac{\pi}{4} + \frac{1}{2},$$

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \left\{ \sum_{k=1}^n \frac{1}{n} \sqrt{2 - \left(\frac{k}{n}\right)^2} - \sum_{k=1}^n \frac{1}{n^2} \right\} = \frac{\pi}{4} + \frac{1}{2}$$

$$\text{したがって} \quad \lim_{n \rightarrow \infty} a_n = \frac{\pi}{4} + \frac{1}{2}$$



12  $0 \leq x < 2$  となる実数  $x$  に対し、 $g(x) = \begin{cases} x & (0 \leq x < 1 \text{ のとき}) \\ 2 - x & (1 \leq x < 2 \text{ のとき}) \end{cases}$  と定める。次に、実数

$x \geq 0$  に対し、 $2m \leq x < 2m + 2$  となる整数  $m$  を用いて  $f(x) = g(x - 2m)$  と定める。

更に、 $a_n = \int_0^{2n} e^{-x} f(x) dx$  で数列  $\{a_n\}$  を定める。

(1)  $y = f(x)$  の  $0 \leq x \leq 4$  におけるグラフをかけ。 (2)  $a_1$  を求めよ。

(3)  $b_n = a_{n+1} - a_n$  とおく。 $b_n$  を  $n$  の式で表せ。 (4) 極限値  $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n$  を求めよ。

$$\text{解答} \quad (1) \quad \text{図} \quad (2) \quad a_1 = 1 - 2e^{-1} + e^{-2}$$

$$(3) \quad b_n = e^{-2n} (1 - 2e^{-1} + e^{-2}) \quad (4) \quad \frac{e-1}{e+1}$$

解説

(1) [1]  $0 \leq x < 2$  のとき

$2m \leq x < 2m + 2$  となる整数  $m$  は  $0$  であるから

$$f(x) = g(x) = \begin{cases} x & (0 \leq x < 1) \\ 2 - x & (1 \leq x < 2) \end{cases}$$

[2]  $2 \leq x < 4$  のとき

$2m \leq x < 2m + 2$  となる整数  $m$  は  $1$  であるから

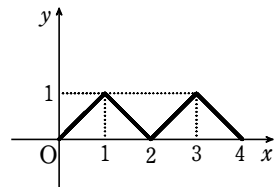
$$f(x) = g(x - 2) = \begin{cases} x - 2 & (2 \leq x < 3) \\ 4 - x & (3 \leq x < 4) \end{cases}$$

[3]  $x = 4$  のとき

$2m \leq x < 2m + 2$  となる整数  $m$  は  $2$  であるから

$$f(4) = g(4 - 4) = 0$$

[1] ~ [3] から、 $0 \leq x \leq 4$  における  $y = f(x)$  のグラフは右の図のようになる。



(2) (1) から、 $0 \leq x < 2$  において  $f(x) = g(x)$  であるから

$$a_1 = \int_0^1 x e^{-x} dx + \int_1^2 (2 - x) e^{-x} dx$$

$$\text{ここで} \quad \int_0^1 x e^{-x} dx = \left[-x e^{-x}\right]_0^1 - \int_0^1 1 \cdot (-e^{-x}) dx = -e^{-1} - \left[e^{-x}\right]_0^1 = 1 - 2e^{-1}$$

$$\int_1^2 (2 - x) e^{-x} dx = \left[(x - 2) e^{-x}\right]_1^2 - \int_1^2 1 \cdot e^{-x} dx = e^{-1} + \left[e^{-x}\right]_1^2 = e^{-2}$$

$$\text{よって} \quad a_1 = 1 - 2e^{-1} + e^{-2}$$

$$(3) \quad b_n = a_{n+1} - a_n = \int_0^{2n+2} e^{-x} f(x) dx - \int_0^{2n} e^{-x} f(x) dx = \int_{2n}^{2n+2} e^{-x} f(x) dx$$

$2n \leq x < 2n + 2$  において  $f(x) = g(x - 2n)$  であるから

$$b_n = \int_{2n}^{2n+2} e^{-x} g(x - 2n) dx$$

$x - 2n = t$  とおくと  $dx = dt$

$x$  と  $t$  の対応は右のようになるから

$$\begin{aligned} b_n &= \int_0^2 e^{-t-2n} g(t) dt = e^{-2n} \int_0^2 e^{-t} g(t) dt \\ &= e^{-2n} a_1 = e^{-2n} (1 - 2e^{-1} + e^{-2}) \end{aligned}$$

(4) 数列  $\{b_n\}$  は数列  $\{a_n\}$  の階差数列であるから、 $n \geq 2$  のとき

$$a_n = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} b_k = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} e^{-2k} a_1 = a_1 \sum_{k=0}^{n-1} (e^{-2})^k$$

$$e^{-2} \neq 1 \text{ であるから} \quad a_n = a_1 \cdot \frac{1 \cdot \{1 - (e^{-2})^n\}}{1 - e^{-2}}$$

$$0 < e^{-2} < 1 \text{ から} \quad \lim_{n \rightarrow \infty} a_n = \frac{a_1}{1 - e^{-2}} = \frac{(1 - e^{-1})^2}{(1 + e^{-1})(1 - e^{-1})} = \frac{1 - e^{-1}}{1 + e^{-1}} = \frac{e - 1}{e + 1}$$

